

### 300315賛成討論

平成30年度神石高原町一般会計予算について賛成の立場で討論を行います。

入江町長就任二年目を迎えました。予算提案にあたっては、本町の持つ人口の減少が止まらない状況を最も重要な課題と捉えられ「小さくても元気の出るまちづくり」を目指し、持続可能な財政運営を行う事を前提とした積極的な予算提案となっております。

本町の一般会計当初予算は、総額で123億円となり、前年度と比べて額にして25億3千万円、率にして25.9%増の、本町発足以来最大規模の積極型予算となっております。

財政健全化路線を継続しながら、昨年引き続き「8つの挑戦」を積極的に推進することで人口増加を目指す、と予算編成方針に述べられているとおり、平成30年度一般会計当初予算編成においては、平成31年度32年度の本庁舎・病院建設、本年度の道の駅リニューアル、また第2団地造成など大型プロジェクト事業を控え、合併算定替えの終了による地方交付税の減少や町税の収入減少傾向を見込みながら、国・県支出金の確保、後年度を見越した各種繰入金を活用、有利な条件に特化した町債の発行など財源確保に努められております。

そういった中で、減債基金や財政調整基金を活用して、思い切った9億円もの繰り上げ償還を行い、今後増大すると予想される公債費負担の適正化を図られたことは大いに評価されるところであります。

しかしながら、チャレンジファンドの創設など昨年から引き続いての各種挑戦プロジェクトをはじめ多くの新規ソフト事業や集中する大型ハード事業の執行には、多額の単独町費の投下も予測され将来的に更なる財政運営の厳しさが見込まれます。

予算執行にあたっては、更なる財政基盤の確立と、なお一層の事業実施計画を充実させ事業効果の早期実現に向けて英知を結集されることを先ず望むものであります。

予算審議を通じ、議員からの指摘・提案などを十分参酌のうえ、解決に向け、具体的、積極的な対応を望むとともに、予算の執行にあたっては、特に以下のことについて十分対応されるよう強く要望するものであります。

- 1) 新規事業の提案においては、早期に提案し、事業目的、事業効果を明確に示し、住民の理解を得るよう努めること。
- 2) 事務事業の執行にあたっては万全の体制で、スピード化を図り、無駄を極力省くこと。
- 3) 道の駅のリニューアルにあたっては、農産物の販売促進、生産者・出荷者の所得向上という本来の目的を達成するよう企画立案し完成を目指すこと。
- 4) 町内の第3セクター役員及び職員の報酬・賃金においては、公平を期すよう配慮すること。
- 5) クラフトビール工場の運営にあたっては、地産地消を旨とし、安定した経営基盤を確立すること。
- 6) ドローン活用事業については、長期的な視野に立った活用を望む。
- 7) チャレンジ基金、ビジネスコンテスト、ふるさと回帰塾など新規ソフト事業は必ず成果を公表しその目的に資するよう努めること。

以上申し上げ、種をまかれた8つの挑戦から芽吹いた「芽」がしっかりと育ち「誰もが住んでみたいまち」づくりに取り組まれることを期待し、議案第88号、平成30年度神石高原町一般会計予算案に対する賛成討論といたします。